

(様式 1 - 3)

福島県（富岡町）帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 27 年 6 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	10	事業名	富岡町災害公営住宅整備事業	事業番号	(1) -1-1
交付団体	富岡町	事業実施主体（直接/間接）	富岡町（直接）		
総交付対象事業費	245,252（千円）	全体事業費	840,252（千円）		
帰還環境整備に関する目標					
富岡町災害復興計画（第一次）（平成 23 年策定）では「住宅の再建と生活環境の向上を図るため、災害公営住宅等の整備」を掲げ、これに基づく富岡町復興まちづくり計画（平成 24 年度策定）においては、「町の復興拠点として位置付けた曲田地区周辺に機能集約を図り、土地区画整備事業で整備された都市基盤を活用し、復興公営住宅を整備」を掲げており、避難指示解除後（平成 29 年 4 月の帰還開始）にあたり、町民に対し安心した居住環境を提供するため、曲田土地区画整理事業地内に災害公営住宅を先行的に整備する。					
事業概要					
富岡町災害復興計画(第二次)において、早ければ H29.4 の帰還をめざす方向性が示されたことから、復興中核拠点（曲田土地区画整理事業地内）に、平成 25 年 8 月住民意向調査の結果を基に、帰還困難区域や津波被災者など、町民の帰還にあたり必要な住環境整備として、災害公営住宅を 30 戸先行的に整備する。 ※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください					
＜富岡町災害復興計画（第一次）＞					
OP17 復旧期における安全・安心の確保と生活基盤の整備					
・インフラ等の復旧整備（ライフライン、災害公営住宅、医療、介護福祉施設等）					
OP30 住宅再建と生活環境の向上					
・被災住宅の早期再建、管理等及び災害公営住宅の整備					
＜富岡町復興まちづくり計画＞					
OP13 土地利用					
・町の拠点として位置付けた富岡駅や曲田地区周辺に機能集約を図り、復興公営住宅の整備を検討					
OP20 復興公営住宅					
・町内帰還開始時から入居できるよう、建設に向けた準備（土地の取得、調査設計など）を推進					
・整備にあたっての留意事項（建設形態や駐車場、環境への配慮、高齢者への対応など）					
当面の事業概要					
＜平成 27 年度＞〔245,252 千円〕					
①用地取得費（245,252 千円）					
整備地として、土地区画整理事業地内の 2 街区・3 街区 9,192.37 m ² を取得する。					
地域の帰還環境整備との関係					
当町は、東日本大震災による地震及び津波災害に加え、原子力災害の被災地であり、住宅被害も、地震による損壊、津波による流失、原子力災害による高線量化、長期避難による野生動物被害など様々であり、避難指示解除後、すぐには自宅に戻れないことも想定される。町内で生活できる場所を確保することで、帰還促進が図られる。					
関連する事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1 - 3)

富岡町帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 27 年 6 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	11	事業名	道路整備事業	事業番号	(1)-10-1
交付団体	富岡町		事業実施主体 (直接/間接)	富岡町 (直接)	
総交付対象事業費	67,767 (千円)		全体事業費	2,760,767 (千円)	
帰還環境整備に関する目標					
現在町は、平成 29 年 3 月に帰町判断すべく復興・復旧を加速的に進めているところであるが、その中で曲田土地区画整理事業は「富岡町災害復興計画 (第二次)」で市街地復興先行ゾーンの拠点とされており、その復興拠点から県道広野小高線及び国道 6 号へのアクセス道路の整備により、復興拠点としての機能向上と駅周辺の立体的な利用の促進を図る。					
事業概要					
本事業は、津波により壊滅的な被害を受け、町再生の第一歩として先行的に市街地復興を進める曲田土地区画整理事業地内から、重要幹線である海側の県道広野小高線と内陸側の国道 6 号をつなぐアクセス道路を整備するため、路線・地形測量、道路・橋梁詳細設計をする。					
参考					
構造的には、海側の県道広野小高線から JR 常磐線と立体交差し、曲田土地区画整理事業地内にある JR 富岡駅前からの接続道路と平面交差し、国道 6 号まで至る道路である。					
富岡町事業である曲田土地区画整理事業と JR 事業である JR 富岡駅移設事業と調整を図り、測量・設計等の調査に着手する。					
※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください					
当面の事業概要					
<平成 27 年度> 路線・地形測量、道路・橋梁詳細設計 延長約 0.76km、W=7.0(10.5)m					
<平成 28 年度> 橋梁下部工					
<平成 29 年度以降> 橋梁上部工、道路工事					
地域の帰還環境整備との関係					
この道路に連結する曲田土地区画整理事業地内は、町再生の第一歩として先行的に市街地復興を進める「市街地復興先行ゾーン」として、帰還する住民の居住環境、生活サービス機能の集約・充実を図る場所であり、アクセス道路の整備によって復興拠点としての機能向上を図る。					
関連する事業の概要					
・ 県道広野小高線整備事業 (県事業) 総延長 55.1km 富岡町分 3.3km					
・ 曲田土地区画整理事業 A=22.0ha					
本事業により道路を整備し接続させることによって、曲田土地区画整理事業地内にできる復興拠点から県道広野小高線及び国道 6 号へのアクセス道路となる。					
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					

(様式 1-3)

福島県（富岡町）帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 27 年 6 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	12	事業名	富岡町災害公営住宅整備基本計画策定事業	事業番号	◆ (1) -1-1-1
交付団体	富岡町	事業実施主体（直接/間接）	富岡町（直接）		
総交付対象事業費	33,000（千円）	全体事業費	33,000（千円）		
帰還環境整備に関する目標					
富岡町災害復興計画（第一次）（平成 23 年策定）では「住宅の再建と生活環境の向上を図るため、災害公営住宅等の整備」を掲げ、これに基づく富岡町復興まちづくり計画（平成 24 年度策定）においては、「町の復興拠点として位置付けた曲田地区周辺に機能集約を図り、土地区画整備事業で整備された都市基盤を活用し、復興公営住宅を整備」を掲げており、避難指示解除後（平成 29 年 4 月の帰還開始）にあたり、町民に対し安心した居住環境を提供するため、住民意向調査を基に、条件の把握・検討を行い、町内での居住環境整備を図るため、土地利用基本計画を含めた災害公営住宅基本計画を策定し、帰還促進を図る。					
事業概要					
帰還困難区域や津波被災者など、町民の帰還にあたり必要な住環境整備として、災害公営住宅を整備するため、帰還入居希望者の継続的な意向調査を実施し、復興中核拠点（曲田土地区画整理事業地内）を中心とした町内の住環境を整備するための全体整備基本計画を作成する。 ※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください					
＜富岡町災害復興計画（第一次）＞					
OP17 復旧期における安全・安心の確保と生活基盤の整備					
・インフラ等の復旧整備（ライフライン、災害公営住宅、医療、介護福祉施設等）					
OP30 住宅再建と生活環境の向上					
・被災住宅の早期再建、管理等及び災害公営住宅の整備					
＜富岡町復興まちづくり計画＞					
OP13 土地利用					
・町の拠点として位置付けた富岡駅や曲田地区周辺に機能集約を図り、復興公営住宅の整備を検討					
OP20 復興公営住宅					
・町内帰還開始時から入居できるよう、建設に向けた準備（土地の取得、調査設計など）を推進					
・整備にあたっての留意事項（建設形態や駐車場、環境への配慮、高齢者への対応など）					
当面の事業概要					
＜平成 27 年度＞〔33,000 千円〕					
①災害公営住宅整備基本計画（事業費 33,000 千円）					
全体整備基本計画においては、住民意向調査を基に、条件の把握・検討を行い、土地利用基本計画を含めた災害公営住宅基本計画を策定する。					
地域の帰還環境整備との関係					
当町は、東日本大震災による地震及び津波災害に加え、原子力災害の被災地であり、住宅被害も、地震による損壊、津波による流失、原子力災害による高線量化、長期避難による野生動物被害など様々であり、避難指示解除後、すぐには自宅に戻れないことも想定される。町内で生活できる場所を確保するため、復興中核拠点（曲田土地区画整理事業地内）に先行的に30戸の災害公営住宅を整備する。今後も継続して意向調査を実施し、住宅の必要戸数の把握に努め、町内の居住環境を整備することで帰還促進が図られる。					
関連する事業の概要					
富岡町災害公営住宅整備事業					
用地取得 A=9,192.37 m ²					
調査設計 平屋建て 20 戸、二階建て 10 戸					
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。					
関連する基幹事業					
事業番号	(1)-1-1				
事業名	富岡町災害公営住宅整備事業				

交付団体	富岡町
基幹事業との関連性	
<p>基幹事業で災害公営住宅を整備するため、復興中核拠点(曲田土地区画整理事業地内)を中心とした住宅整備が図られることにより、今後の住民の帰還促進が期待されることから、効果促進事業において、復興中核拠点(曲田土地区画整理事業地内)を中心とした町内の住環境を整備するための全体整備基本計画を作成するもの。</p>	